

※音声記事は除外しております。

■意識を把握するのに役立つコンテンツ

●6月2日【習慣化＝反デカルト劇場】

⇒デカルト劇場…心と身体は別々のものであり、身体の中にある心が身体の感覚・反応・行動の全てをコントロールしているのだとする考え方。

■自分らしく、自信を付けていく為のコンテンツ

●6月13日【日露戦争に見る創意工夫】

⇒リソースフル…自分にある、バラバラなリソース(資源・資質・資産)がフル活用されている状態のこと。

●6月20日【病院の裏話②～噂と村八分の図解フィードバックループ図～】

⇒・フィードバック…システム思考において、ある結果を次の原因に反映させて、調節すること。
・フィードバックループ…システム思考において、原因と結果の因果関係の循環を図で表したもの。

■相談先に関するコンテンツ

●6月3日【人生を路頭に迷わずカウンセラー】

⇒例外管理…例外や異常事態が起きないように、安全面に配慮した管理・マネジメントの仕方のこと。

●6月14日【【上級者向け】6つのレベルのコーチング】

⇒・ニューロロジカル・レベル…NLP開発者のロバート・ディルツ氏が提唱。「人間の学習と変化のレベルには階層があって、上位のレベルは下位のレベルに影響し、変化を起こす」と言う考え方。階層は6つあり、それぞれ下から環境レベル、行動レベル、能力レベル、信念・価値観レベル、自己認識(アイデンティティー)レベル、スピリチュアルレベル、である。

- ・ガイド…コーチングにおける、最善の道を教えてくれる支援的役割。
- ・ケアテイカー…コーチングにおける、安全に道を進めるようにお世話をする支援的役割。
- ・コーチ…行動を改善したり、パフォーマンスを上げることを手伝う支援的役割。
- ・ティーチャー…コーチングにおいて、人の能力やスキルの開発を手伝う支援的役割。
- ・メンター…コーチングにおいて、信念・価値観の強化をサポートする支援的役割。
- ・スポンサー…コーチングにおいて、自己認識レベルの成長を促す支援的役割。
- ・アウェイクナー…コーチングにおいて、スピリチュアルな気付きを促す支援的役割。
- ・6つのレベルのコーチング…実践心理学 NLP の開発者の一人、ロバート・ディルツ氏は、コーチングはニューロロジカル・レベルに応じて6タイプに分けられるとして、6つのレベルのコーチングの理論を展開している。各タイプのコーチングでは、クライアントに影響を及ぼす範囲が異なり、適切なコーチングの仕方も異なるとしている。